



2011.6.26 初聖体

受けるよりも与える

主任司祭 B・ノヴァク

6月19日に行われた信者全体集會に参加してくださった信徒の方々は、去年より多かつたような気がします。信者全体集會の参加者の人数が毎年少しずつ増えているところを見て、教會の運営に関する信徒の関心が高まっているように思っています。

確かに大勢の方々、南山教會の共同体の中で、献身的に色々な働きをなさいますので、教會は、名古屋教區においても、地域の社会においても、大切な役割を果たすことができていると思います。この方々に関して、私の心はいつも感謝で一杯です。と同時に、もっと多くの方が共同体の生活に積極的に関われば、南山教會は与えられた使命を今までよりも立派に果たして、もっと多くの人に父である神の愛と命、喜びと平和を伝えることができると思っています。

「受けるよりは与える方が幸いである」(使20:35)と主イエスが言われたとおりです。そして、信仰は、人がそれを伝えることによつて深まるし、愛は、人がそれを実践することによつてのみ成長します。私たちは、信仰と愛をはじめ、他の色々な賜物を与えられたのは、お互いを造り上げるため(一コリ14:26)、またキリストの体である教會を造り上げるため(エフェ4:11-13)ですので、私たちがその賜物を与え主の意向に沿って用いる時だけ、それが成長し、実を結びます。

共同体の中で奉仕するとき、他の兄弟姉妹と競争したり、自分の働きを他の人と比較したりして、誰かよりも立派な働きをする必要はありません。必要なのは、主から与えられた使命、つまり共同体の中の自分の役割を果たすことなのです。この役割がいくら小さくても、皆がそれを忠実に果たすならば、教會全体は成長し、与えられた使命を益々立派に果たすことができます。そのために祈りいたします。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

初聖体 おめでとうございます

マリエッタ 伊藤 杏華

アーノルド 島田 智

マリア・インマクラータ 鈴木 風

アグネス 竹岡 ゆり

マリア・マグダラ 堀田 あおば

MARIA CAROLINA VASCONCELOS

BEATRIZ VASCONCELOS

幼きイエズスのテレジア 内田 直佳

グレゴリオス・パラマス 島田 修

ミリアム 瀬尾 明日香

クララ・クリスティーナ 原 梨花

使徒ヨハネ 林 聖顕

JOAO LUIZ VASCONCELOS

TRAN ANH THU

初聖体の感想

幼きイエズスのテレジア内田直佳

私は、まだ赤ちゃんのときに洗礼を受けました。なのでその時のことを全然覚えていません。

私に通っていた幼稚園では毎日、皆で神様の歌を歌ったり、朝や帰りの会の時そしてお昼ごはんの前に神様にお祈りしたりしていました。

それから、時々、御聖堂へ行つてシスターから神様のお話を聞きました。

そして、今は南山教会でアンジェイ神父様から初聖体の準備のために大事なことを教えていただきました。いつもやさしくていねいに教え導いてくださったアンジェイ神父様に感謝しています。

私は、神様が大好きです。だから、これからもずっとと神様といっしょにいたいんです。そして、いつも良い子でいられるように神様にお祈りします。

それから、世界中の人たち皆が仲良く暮らせるように、皆で力を合わせて、もっと良い世界をつくれるようにお祈りします。

クララ・クリスティーナ 原梨花

わたしは4月に、パパといっしょにせんれいをうけました。ご

せたいはいりょうの時に大人のパパや他の人たちだけうけていて、子どものわたしはうけられなかったので、ふしぎにおもいました。パパに、「どうして梨花はあのパレンたべれないの?」と聞いてみると、「子どもだから6月に初せい体をうけるんだよ。」と言われたので、「いいなあ。パパは。」と思いました。

マリエッタ 伊藤 杏華

6月になり、土よう日のリハールでゆるしのひせきを受けました。友だちのきようかちゃんはずぐに行ってしまったので、きんちようしました。とうとうわたしのばんがきて、うけることができました。

次の日に、白いふくをきて、アンジェイしんぶさまにきのうやつてもらったことをおもいだしながら初せい体をうけました。とうとういたただく時になり、ぱくつとたべたら、すうーつととけました。きんちようしたけども楽しかったなあと思いました。

マリア・インマクラータ鈴木風

初聖体はとてもきんちようしました。とくにきんちようしたときにご聖体をいただくときです。どんなあじがするんだらうと思いましたが、かいだんをあがつてみんなとならんでおいのりをしたり、み

私は、イエスさまが大好きだから、一しようけんめい勉強しました。はじめてイエスさまの体をいただいて、自分の心と体にイエスさまが入って下さって、うれしかったです。

神父さま方、家ぞく、私を温かく見守って下さった方々にかんしゃします。ありがとうございます。もっとと神様のことを勉強して、みんなに伝えたいです。

ミリアム 瀬尾 明日香

日ようびにはつせいたいをうけてとつてもうれしかったです。

パンはおいしかったです。べんきょうをして、がんばって、やっとパンをたべれるようになって、ほんとうにがんばってよかったとおもいました。

べんきょうはむずかしかったけど、がんばってよかったとおもいました。

パンはあじがなかったけどおいしかったです。

べんきょうをしてきてよかったとおもいました。

はっせいたいはいいものだとおもいました。

スカウトバザー大成功だ！

伊藤宗太郎

去る6月12日ボーイ97団は中庭やマリア館第一集會室で、スカウトバザーを行った。活動資金確保と教会や近隣の方々との親睦を深めるため、毎年行う恒例行事だ。二ヶ月前から皆様にお願した寄付の商品が続々とマリア館倉庫に集まり、また聖堂前の食券販売も上々の滑り出した。

当日は天気予報で大雨が予想されハラハラした。だが、聖霊降臨のお恵みにより曇りだったが、雨は一滴も降らなかった。神様に感謝！食べ物模擬店は趣向を凝らし、新しいメニューを加えた。

ロコモコ丼、中華春巻き、コロツケなどはすこぶる評判が良かった。昼までに食券は完売してしまいい、料理の品との交換に少々足りなかった。

新品や掘り出し市、ビールやワイン販売、手作りお菓子やケーキ売り、古着コーナーなどは大好評で、次々と商品が売れていた。カブちゃんやビーバーちゃんのゲームコーナーもお友達がワンサワンスと押しかけ、大盛況だった。

バザーは午後二時に終了したが、結果はなかなかの好成绩で純利益は四十万円近く、昨年を大きく上回った。本当に有難うございました！同時に会場で行った東日本大震災募金箱に六千四百円ほどの現金を頂いた。皆様の温かいご理解とご協力に深く感謝！感謝！

中高生会親子交流会

Sr. 梅村祥子

6月18日(土)三位一体の祝日の前夜に中高生会親子交流会を八事聖霊修道院で行いました。初めは、中高生と修道院で日曜日のお昼にパーベキューをと考えていましたが、5月の終わり頃にお母様方、ボクダン神父様、アントニー神父様とお話したところ親子一緒にということになり、急遽皆さんに呼びかけることになりました。

突然の話だったにもかかわらず、お母様方の声かけが良く、50人以上の参加者がありました。ボクダン神父様、アントニー神父様、ニコ神父様も来てくださいました。その日は雨天の予報でしたが、Sr. 福原(幼稚園の主任)から雨天なら幼稚園のホールを貸してくださいということだったので、雨でも決行ということになりました。当日、曇りから雨がぱらぱらと降り出し、次第に雨量も多くなってきました。ところが、新しく建てた建物の聖堂で、17時30分から始めた祈りが18時に終わって外に出ると、なんと幼稚園の計らいか雨がやみ、幼稚園のグラウンドでパーベキューをすることができました。花火、後片付けなどすべてが終わった20時頃再び雨が降ってきました。八事修道院では4月の終わりに高齢のシスターのための新しい建物が完成し、その聖堂の中央の上部には三位一体のステンドグラスがあり、三位一体のステンドグラスは三位一体の神が、傷つき、弱り果てた人間をその愛で包んでいるというものです。祈りの初めに中高生、子供達がろうそくを捧げました。三位一体の祝日の前夜にこのステンドグラスを通して祈れたことは意味深いことだったと思います。その後、パーベキューと花火をして、皆さんと楽しいときをもちました。

若手のシスターと台所で一緒に準備にあたってくださったお母様方、高校生の女の子たち、炭火を準備してくださったアントニー神父様とシスター、肉や野菜を焼いてくださったニコ神父様やお父様方、最後まで後片付けに協力してくださった方々ありがとうございました。そして何よりもたごさいました。そして何よりもたごさいました。皆さんの人が集まってくださったことは、喜びでした。南山教会には聖霊幼稚園の卒園生も多く、懐かしかったのではないかと思います。また、幼稚園のグラウンドは何かほっとできるとても良い空間だということもわかりました。快くSr. 福原に感謝しつつ、いつかまた、皆さんと集う日が来ることを祈ります。神に感謝。



6.18 中高生親子交流会

心の傷の癒しとゆるし

(その2)



B・ノヴァク神父

トマス・キティング師は先ず、私に聖パウロについて一つ大事なことを意識させました。「生きていくのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。」(ガラ2:20)と言えるほどイエスを愛し、イエスと一つになった聖パウロ、イエスに最後まで従い、イエスのために自分の命をささげた聖パウロは、自分の望みに従えず、いつの間にかそれと正反対のことをしてしまおうというような問題をイエスに出会って、イエスに従うと決心した後にも体験しました。聖パウロは、この問題をローマ人への手紙(ロマ7:15、25)の中で描きました。求めていく善ではなく、憎んでいる悪を行う自分の生き方を見た聖パウロは、自分の中で、自分を別の方向へ引っ張ろうとしている二つの法則、互いに争っている

二つの力を見出ししました。彼が従いたくなかった力を「罪の法則」とか、「肉の人」とか、「古い人」と呼び、従いたいものを「内なる人」とか、「新しい人」と呼びました。そして、霊的な生活の一つ大事な課題というのには、「滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨てる」こと、と同時に「神にかたどって造られた新しい人を身に着ける」とだと教えました。(エフェ4:21、24)。回心することとか、洗礼を受けることは、そのような過程の始まりであります。この過程が完成されたことによつてのみ、人間は、イエスのように愛に生きることができるようになります。聖パウロは、このような霊的な発達と次の言葉によつて表します。「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによる

ことです。」(2コリ3:18) トマス・キティング師は、聖パウロが言っている「古い人」ということを「偽りの自己」と呼びます。そして「偽りの自己」がどのように発達しているかというところとか、どのように働いているか、どのように私たちを支配しているかということを説明します。この「偽りの自己」は、現実的な存在ではなく、古い生き方、自己中心的な生き方への執着ですが、「偽りの自己」が生きている限り、洗礼によつて生まれた「新しい人」は自由に生きることができな自由になること、つまり神にかたどって創られた私たちの本質に沿って生きることができな自由になることです。キティング師は、「新しい人」のことを「真の自己」と呼びます。実は、霊的な発達の目的とは、「偽りの自己」の支配下から自由になつて、完全に「真の自己」として、つまり本当の意味で自分らしく生きることなので、最終的に、聖パウロが教えられている通りに、人間が愛に生きるために自由になるのは、神の働きの結果ですが、人間の協力、特に神の働きを受け入れるという意味での協力がどうして必要なのですか。神の働きを受け入れるために、自分が本当に「偽りの自己」のとりこになつていて、その支配下に生きていることと、自分が自分の力だけでは自由になることができないという事実を認める必要があります。ですから、先ず、自分の中にある「偽りの自己」を知る必要があります。「偽りの自己」を知ること、つまり「現実的な自分」を知ることになります。殆どの場合、「現実的な自分」と「理想的自己」と、つまり、私たちが自分について考えていることや感

ペンキ塗りは9月末以降に実施予定。

スカウトバザーについて

6月12日日曜日に実施。

幸い晴天に恵まれた。

ブルーシートの屋根がゆうこうであった。

収益37万5千370円

震災募金6394円

信者全体集会について

68名参加

駐車場身障者用スペース設置の要望あり。↓営繕委員会対応

奉献文の結びの詠唱のあり方について質問があった。

質疑応答の中で納骨堂の教会内設置について早く進めてほしいとの声があった。

運営委員会規約改定について承認された。今回の改定とは別件で第6条4項に関わり、宣教司牧評議会と信徒協の位置づけをもう少し明確にすべきではないかとの指摘があった。

営繕委員会より

身障者用駐車場については、今の枠とは別のところに設定する可能性も含めて主任司祭と営繕委員会

で検討し、今月中に表示を行う予定。

審議事項

今年度バザーについて

10月23日日曜日開催予定
出店の届け出用紙提示。

バザーテーマの応募7点が提示された。この後、運営委員の投票をもとに西尾実行委員長とボクダン

師の協議により決定する予定。

9時半ミサお知らせ時の

各会紹介の順番について

4月の運営委員会にて決めた信徒の皆様への各会紹介の順番決定と内容の確認。

紙面により提案があった。

毎月第3日曜日の9時半ミサのお知らせの中で3分以内の話をする。

英語ミサの1月15日は説明できない人がセンター試験のため、参加できない可能性が高い。都合の悪いところは変更可能。

チラシをつくって配布しながら話すのも良い。

建物・設備の不具合・改善要望書式を作成。事務所に置いて皆様からご報告をいただく。

聖堂玄関ガラス扉の修理

聖堂の内側ガラス戸の左側の油圧ヒンジが劣化し、機能してない。危険な状態なので何らかの対策が必要。

修理する考え方と自動ドアに置き換える考え方がある。

バリアフリーのために自動ドアにする考え方もあるが、弱い立場

にある方に対して、近くの人々が介助できたり、配慮したりできるドアの設置を優先したい。

平日の人の動きにも対応できるよう事務所とつながるインターホンを玄関に設置することも検討する。

第26回教区障害者の集い

南山教会での開催について

7月2日の第2回目打ち合わせの報告と教会側役割分担の確認があった。マリア会が昼食準備など、ボーイスカウトとヨセフ会が

駅からの案内と駐車場整理などを担当。

7月17日日曜日に実施。

11時受付

11時半〜 昼食交歓会

13時〜 シンポジウム

15時〜 ミサ

16時過ぎに閉会予定

南山教会からも大勢参加してほしい。

前日から駐車場の一部を参加者に確保する。

避難訓練の方法、役割分担

2008年度に実施された訓練にならって行う。

8月28日日曜日9時半ミサ後に実施。

避難は、香部屋と結婚式控え室のドアから行う。

いただく方向で典礼奉仕者の中で話し合っていたきたい。マニユアルができた時点で講習会を行うのがよいと考えられる。

ヨセフ会のミサ当番は、その日の当番だけでなく全員で誘導や最終確認に当たる。

9・10月の諸行事の確認

8月は運営委員会お休みにつき、9・10月の行事の準備などについて確認があった。

敬老会(9月18日)

余興 南山小学校琴の演奏、教会学校、中高生会、聖歌隊にお願いする。大樹の会からはお礼の言葉

を述べてもらう。

城東ブロックの集い(9月25日)

教会としてのお手伝いについては

9月の運営委員会で依頼。

教会美化(10月9日)

東日本震災被災地への援助

シスター梅村の報告があった。

仙台教区サポートセンターを通して視察。物の援助は必要な物が

刻々と変わるので難しい。一番良い援助は、仮設住宅に住んで必要性を感じ取って対応することである。援助できる人は、現地に足を運ぶことが良い。

塩釜教会周辺を視察し、具体的な活動としては、塩釜市のボランティアセンターから依頼されたことを行った。船で島へ渡り、お年

側溝の泥の撤去や物の片づけ作業など。

塩釜教会の信徒の方々は熱心にボランティアの受け入れを行って来た。一番の必要は現地に足を運ぶ人。

埼玉教区は、教区としてボランティアを募集し、派遣している。

南山教会としてできることも今後考えていく。いろいろなネットワークを通じて必要なことをキヤッチしていく。

教会内納骨堂建設委員会(仮称)の発足について

信者全体集会にて建設賛成となった。建設へ向けて委員会を立ち上げ、行動を開始することが必要。

6月26日に納骨堂管理委員会を開催し、委員の人選を始めた。8月7日にも委員会を開催予定。

各会報告

中高中生

中高中生親子交流会

6月18日(土)17時〜20時

八事 聖霊修道院にて実施。

参加者 60名。

祈りとバーベキュー、花火などをして親睦を深めた。

中高中生会夏合宿

7月29日(金)〜31日(日)金沢教会にて 申込は7月17日(日)まで

にシスター梅村へ
中高校生父母の会

6月18日(土)八事聖霊修道院で行われた中高中生親子交流会では、新しいお御堂でお祈りを捧げた後、幼稚園園庭にてバーベキューと花火を楽しんだ。

営繕委員会

6月26日第2回営繕委員会開催。

大聖堂内部入口ガラス戸の不具合について検討。

カトリック会館入口(トイ側)ドアの取っ手は修理完了。

不具合報告・要望書作成。幅広く皆様からの情報を集めて補修の参考にしていく。ご協力をお願いしたい。用紙は教会事務に置く。

英語ミサ

8月は英語ミサはお休み。

7月17日は障害者のつどいがあるため日英合同ミサ。

本日(7月3日)参加者が多かった。50名以上の会衆だった。

11月に英語の典礼の変化がある。準備を進めなければならない。

典礼委員会

6月12日 聖霊降臨の主日

にあたり天使ミサ

典礼委員会

6月26日 初聖体

7月10日 典礼奉仕者全体集会

典礼委員会

8月6日 平和ミサ

8時〜 大聖堂にて
平和を求める祈り

8月9日 10時45分〜聖体賛美式

8月14日 聖母行列(被昇天)

8月15日 被昇天ミサ

9月11日 十字架称赞

典礼奉仕者の会

6月12日 聖霊降臨の主日9時半

6月26日 日英合同ミサ

7月10日 聖体の主日

7月10日 9時半初聖体

大樹の会

抹茶を楽しむ会

7月17日(日) 9時〜12時半

マリア館和室にて

どうぞご参加ください。

ボーイスカウト

スカウトバザーへのご協力に感謝
バザー収益 375、370円
東日本大震災募金 6、395円
水泳訓練
7月23日(土)・24日(日)
愛知県知多郡の愛知県美浜少年自然の家にて
参加予定者約50名
教会のテント2張借用
障害者の集いお手伝い
7月17日のお手伝いに20名参加予定。

カトリック教会のカテキズムより

1334 旧約時代には、創造主への感謝を表すために、大地の初物の中からパンとぶどう酒が供え物としてささげられました。エジプト脱出の際には新たな意味も帯びてきます。すなわち、イスラエル人たちが毎年過越祭に食べる種なしパンは、急いでエジプトから脱出したことを記念するものです。また、荒野で食べたマナについての記憶はイスラエル人に、自分たちが神のことばの糧によって生きていることをつねに想起させます。さらに毎日のパンは、約束の地の実り、ご自分の約束に対する神の誠実さの保証です。ユダヤ人の過越の会食の終わりに飲む「賛美の杯」(一コリント10・16)には、ぶどう酒のめでたい喜びに、終末的な側面、すなわち、エルサレム再興を実現するメシア時代への待望の喜びが加わっています。イエスは、パンとぶどう酒の祝福に新しく決定的な意味を与えて、ご自分のエウカリスチアを制定されたのです。

南山句会

平成二十三年六月一日



尖塔の一天を指し青嵐

のぼる

束の間のこころのエール虹立てり

義子

丘に立つ雲はるかなり風光る

とく子

オリーブの花咲く聖地パウロの書

せつ子

バスを待つ白き制服夏に入る

紀子

地震支援のよさこい連に躑躅映ゆ

佐知子

幼な児の父と釣り堀鮎はねる

光子

思い出を断ち切ることに更衣

牧子

万緑に瀬音もれ来る信州路

瑞子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

転入

ようこそ

ヨゼフ 三原 拓也 (宝塚)
マリア・アスタ 相原 敏子 (多治見)

転出

いつまでもお元気で

フランシスコ・サレジオ 小島 洋治 (東山)

受洗

おめでとうございます

マリア・インマクラータ 鈴木 風
グレゴリオス・パラマス 島田 修
Teresa Tran Misaki

帰天

ご冥福をお祈りいたします

6月17日
マリア・マグダレナ Sr.マザ 出雲悦子 (82歳)



カトリック南山教会のホームページへようこそ！

南山教会のホームページで

- なんざん月報 (PDF形式)
- 毎週のお知らせ
- 主日の御言葉
- お祝いの写真や動画
などを見ることが出来ます。

どうぞご利用ください！

<http://nanzankyokai.net>

2011年7月 - 8月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月	1(金)イエスのみ心	10(日)典礼奉仕者全体集会 17(日)子供のミサ	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 10(日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)典礼委員会 17(日)教会学校・中高生会終業式 23(土)要約筆記付きミサ	3(日)司教叙階・金銀祝 10(日)司教を囲む会 17(日)障害者の集い 21(木)司祭協議会 31(日)~8月3(水)侍者会(多治見修道院)
8月	6(土)主の変容 15(月)聖母の被昇天	6(土)平和の祈り(ミサ) 9(火)平和の祈り 14(日)聖母被昇天祭 (聖母行列)	27(土)要約筆記付きミサ	5(金)~6(土)中高生 広島巡礼 6(土)~15(月) 平和旬間